

# コロナ禍とどのように 向き合うか： 人文社会学の 知見をもとに考える

- コロナ禍の許に文化創造のしくみを考える  
—中国古典学の視点から—  
木島 史雄
- コロナの倫理、ポスト・コロナの知性  
—災厄と共にあること—  
下野 正俊
- コロナ禍後の世界秩序をめぐる断章  
鈴木 規夫
- 心理学から見るコロナ禍  
井藤 寛志
- コロナ禍におけるケアと家族  
土屋 葉
- 古代の日本社会と天然痘  
廣瀬 憲雄
- 「疫」から読む『雨月物語』  
—「看病」の表象について—  
空井 伸一
- コロナ禍とばい菌言説—異端化の過程を考える  
片岡 邦好